



We are 鶉っ子!

福井市鶉小学校
令和7年11月4日
第8号 文責：校長

学校教育目標 豊かな心を持ち たくましく生きる児童の育成
校訓(めざす児童像) 強い子 よい子 鶉の子

「主体的な学び」について、先月の学校便りにもその必要性について書きましたが、よく保護者の方から「自分の好きなことは進んでするけど、勉強は自分からはやろうとしない」というお話を聞きます。確かに昔から勉強嫌いな子どもは多いです。本来人間にとって「学ぶ」ことは、大人になってもずっと必要なことです。しかし、より多くのことを吸収できるはずの子どもの時に「学ぶ」ことが楽しくないのであれば、これから先の学びのチャンスを失うことにつながってしまいます。そして、それは子どもの成長に関わっているわたしたち大人にも責任があるように感じています。

我々が育ってきた時代は、学習はやらないといけないことでした。教師や親から「勉強したか」「宿題は終わらせたか」とよく言われ、勉強をすることを強いられていたように思います。今では考えられませんが、宿題をしないといふと廊下に立たされることもありました。わたしはやらせれ感があることは嫌いだったので、勉強しろと言われたら、あえてやらないような問題児でした。しかし、体育と図工と算数は好きだったため、その3つの授業はいつも楽しんでいました。幸いその好きな体育が「体育教師」という職業につながりました。今から考えてみると、受験勉強を含め、人に言われて勉強を頑張った記憶はなく、結局好きな教科を「主体的」に取り組んだことに、意味があったように思います。

つまり、厳しい言い方をすると、勉強を嫌いにさせているのは「教師」や「保護者」であることを認識して、**勉強すること、つまり知らないことを知ることや、できないことができるようになることが「楽しい」と思えるように環境を変えることが**、「主体的に学ぶ」ために必要なのではないのでしょうか。

できないことの評価ではなくできていることを認める評価へ視点を変える、兄弟や友達、また一般的に求めているレベルと比べない、結果ではなく過程を評価する、全員が一律に同じことに取り組む学習から個人の状況に応じた学習に変えるなど、まず子どもに関わる大人達が努力することが求められている気がします。そういった環境の下で、子ども達が、**自分自身が「主語」として、自ら学習しようとする意欲を持ち、学ぶことに対してプラスの感情を持ってほしい**と願っています。

現在本校は、「子どもを主語にした授業づくり」に取り組んでいるところです。教科によって、または授業の一部でもよいので、「学ぶことが楽しいと感じる児童」「自分から学びに向かおうとする児童」を増やしていくことが、今学校に求められている責務だと思っています。しかし、その実現には、子どもたちに最も寄り添うことができる保護者の方の力も必要です。今後ともご協力をよろしくお願いします。

学校公開 10月28日(火) 2・3・4限

昨年度までは、教育ウイーク期間の授業参観として、指定した授業を見ていただいていたいました。児童が頑張ろうとしている授業を見ていただくことには意味がありますが、普段の様子をそのまま見ていただくことにも大きな意味があります。そこで、今年度は2～4限目までを自由に見ていただくことにしました。

お時間の関係で、3時間とも見ていただいた方は少なかつたかもしれませんが、3時間見ていただければお子様の普段の様子やクラスの様子がわかるのではないかと思います。いかがだったでしょうか。

わたしはよく教室回りをを行うのですが、クラスにはカラーがあり、雰囲気も違います。元気なクラス、落

ち着いたクラス、自由な発言が飛び交うクラス、発言にしっかりと耳を傾けるクラスなど、どのクラスも特徴があっておもしろいと思っています。たまたま同じ年度に生まれ、同じ地域に住んでいるから縁があるクラスの仲間達。当然いろいろな人がいます。気が合う人、合わない人はいるはずです。そういった様々なタイプの仲間と集団生活を行う単位がクラスです。今回は、本校の特徴でもある複数学年交流の授業なども見ていただいた学年もありますが、お子様が仲間とともに過ごしながらか成ちしていく雰囲気を感じてもらえたなら幸いです。



6年 修学旅行 10月30日(木)・31日(金)

1日目は、少し暑いくらいの素晴らしい好天、2日目は、朝から肌寒い雨降りとなり、体調が心配されましたが、全員最初から最後まで元気に行程を終えることができました。

「小学校生活で身につけてきたことを、社会の中でも発揮できること」が大事だと出発式で話をしました。普段から元気で物怖じせず、誰に対してでも自分らしさを発揮する児童が多い6年生ですが、修学旅行の間でも同様にその力を発揮していました。積極的に自分たちから外国人に片言の「英語」で話しかけたり、お世話になった人や店の人に「ありがとうございました」「おいしかったです」等の言葉を自分から言えたりする社交的な雰囲気は、とても微笑ましいものでした。班行動でも、仲間と助け合いながら、時間もきちんと守り、みんなが楽しむ視点で動いていたのも良かったです。これからも鵜小学校のリーダーとして、6年生カラーを出しながら、下級生に良い影響を与える存在であってほしいと感じた2日間でした。

修学旅行の2日間を通して素晴らしい経験ができたと思います。この経験を支えてくださった数々の人に感謝しながら、卒業まで半年を切った小学校生活を、より充実したものにしてほしいと思います。

～鵜小学校PTAより～

昨年度行ってみて好評であった、「制服・体操服リユース」活動を、今年度も計画しています。

回収時期は3月頃、販売時期は、卒業式以降の土日进行予定しています。詳細は近くなりましたら別途お便りにてお知らせします。

ご家庭において制服や体操服(帽子等も可)の買い換えがあった場合、不要になったものを回収時期まで保管しておいていただきますよう、ご協力をお願いします。



鵜小学校の HP

<https://www.fukui-city.ed.jp/uzura-e/>

ご意見ください

<E-mail: uzura-e@fukui-city.ed.jp>

